PRESS RELEASE / 報道関係者各位

2026年11月10日 株式会社イノカ

コケで金属回収、イモムシを食材に。「生きもの好き」6人の挑戦が集結

11月14日、高輪ゲートウェイ
INNOVATE AQUA-TERRA AWARD 2026 開催

コケによる金属回収、ミミズを活用する土壌診断の開発、イモムシの食用養殖、ゲンゴロウの生息地保全、写真や映像による虫の魅力の発信、カマキリを通じた科学教育。生きものへの関心を行動に変えた6人が、11月14日に集結します。

6人のファイナリストと、その挑戦

ゲンゴロウが生きる場所を守る

ちーごろう氏 | ゲンゴロウの観察・保全

ゲンゴロウへの関心を起点に、遠隔観察やビオトープの保全に取り組んでいます。飼育する個体だけでなく、野外での暮らしや生息環境にも目を向け、ゲンゴロウが生き続けられる場所をどう守るかを探究。観察の楽しさを、生息地を守る活動につなげています。

コケを、金属を回収する素材に

井藤賀 操氏 | 株式会社ジャパンモスファクトリー

コケが金属を吸着・蓄積する性質を活用し、水中の鉛などの除去や、有価金属の回収に向けた技術の事業化に取り組んでいます。幼少期から関心を持ってきた小さな植物の力を、排水処理や資源回収へ。コケの可能性を研究と事業の両面から探っています。

ミミズで、掘らずに土の中を調べる

遠藤 颯氏 | 株式会社MIMIZU

ミミズを動くセンサーとして活用し、掘らずに土壌内部の情報を読み取る技術を開発中です。ミミズの多様性や生態系での役割を研究してきた知見を、目に見えない地下の環境を捉える手がかりに。農業や防災などで土の状態を診断する用途を目指しています。

イモムシを、新しい食材として育てる

吉田 誠氏 | 株式会社環虫社

滋賀県米原市で、ガの仲間「トビイロスズメ」の幼虫を食用に養殖しています。日本にも生息する緑色の大きなイモムシを、大豆の葉で育てる取り組みです。食材としてのおいしさを引き出し、食べる楽しさを届けることで、生きものとの新しい関係を探っています。

虫の小さな表情を、写真や映像で届ける

片田 陽依氏 | 俳優・作曲家・虫プロデューサー

YouTube「ひよりの虫日記」や写真・映像を通じて虫の魅力を発信しています。名前を調べるために始めた撮影は、肉眼では気づきにくい姿や動きを捉える表現へ。身近にいながら見過ごされがちな虫の世界を伝え、自然に目を向けるきっかけをつくっています。

カマキリとの出会いを、科学の入り口に

渡部 宏氏 | カマキリ博士 / 農学博士

3歳のときに庭で出会ったカマキリに魅了され、研究を重ねて農学博士に。現在は昆虫教室や講演を通じ、カマキリなどの生態を子どもから大人まで伝えています。身近な生きものへの疑問を、自分で観察し考える学びにつなげる科学教育に取り組んでいます。

※掲載順は順位・登壇順を示しません。発表・質疑応答は13:00–15:15を予定しています。

取材窓口：y.takakura@innoqua.jp / s.katsunishi@innoqua.jp

PRESS RELEASE / 報道関係者各位

2026年11月10日 株式会社イノカ

開催について

株式会社イノカは11月14日（土）、高輪ゲートウェイ LiSH（東京都港区）で「INNOVATE AQUA-TERRA AWARD 2026」を開催します。今年は水辺に加えて陸の生きものにも対象を広げ、研究・事業・保全・発信・教育に取り組む6名が登壇。生きものへの関心をどのように具体的な行動に変えてきたのか、これから何を実現したいのかを発表し、企業と対話します。

企業が「一緒に取り組みたい人」を選ぶ

イノカは、生きものへの深い関心を起点に、自然と社会のために行動する人を「生態圏アントレプレナー」と呼んでいます。本アワードでは、企業が「誰と一緒に取り組みたいか」という視点で発表を聞き、企業賞を選出。発表や交流を通じて、研究・事業・保全・教育の次の一歩をともに考える場をつくります。

午前には、ジェックスによる「淡水カーボン」の講演、過去ファイナリスト3名の活動発表、明石市長・丸谷聡子氏の講演を予定しています。

開催概要・主な取材時間

日時：2026年11月14日（土）9:30–19:00（予定）
会場：高輪ゲートウェイ LiSH Studio 1
THE LINKPILLAR 1 NORTH 6F（東京都港区）
主催：株式会社イノカ

9:35–9:45 ジェックス 関本雄大氏「淡水カーボン」講演

9:45–10:21 過去ファイナリスト3名による活動発表

10:30–11:30 明石市長・丸谷聡子氏 講演

13:00–15:15 今年のファイナリスト6名の発表・質疑応答

16:00–17:30 企業賞・イノカ賞 授賞式 / 写真撮影

17:30–19:00 交流会

※プログラムは変更となる場合があります。

取材のお申し込み・お問い合わせ

本イベントは招待制です。取材をご希望の方は、媒体名・お名前・人数・来場予定時刻・撮影や個別取材のご希望を、下記までご連絡ください。個別取材はご希望を伺い調整します。土曜日は通常と入館方法が異なるため、事前に入館案内をお送りします。撮影・掲載の条件は対象ごとにご案内します。

株式会社イノカ 高倉葉太・勝西菜子
y.takakura@innoqua.jp / s.katsunishi@innoqua.jp
イベント詳細：https://corp.innoqua.jp/award/